



EBENEZER
OPERATION EXODUS

歴史的 奇跡のわざ そして 預言的な出来事



「たとい、あなたがたのうちの散らされた者が天の果てにいても、わたしはそこから彼らを集め、わたしの名を住ませるためにわたしが選んだ場所に、彼らを連れて来る。」(ネヘミヤ1章9節)

ユダヤ人の祖国への帰還を助けるクリスチャンの団体



ブネイ・メナシェ族の 帰還を支援する

インド



アベ&ディーパ・トーマス
ABE & DEEPA THOMAS
インド

これは、歴史的であり、奇跡であり、そして預言的なことです。歴史的というのは、歴史のページから消えていた民が、2700年もの放浪を経て帰還したからです。奇跡的であり預言的であるのは、古代からの聖書の預言が正確に成就しているからであり、そのことがまさに私たちの目の前で起こっているからなのです。

「たとい、あなたがたのうちの散らされた者が天の果てにいても、わたしはそこから彼らを集め、わたしの名を住ませるためにわたしが選んだ場所に、彼らを連れて来る。」

ネヘミヤ1:9

インド北東にあるマニプール州のチューラーチャンドプル村のブネイ・メナシェ族の喜ぶ様子を見た時に、私たちの心に、このみことばが響きました。二つのグループに分かれて、162人のブネイ・メナシェ族はアリヤーする準備をしていました。

エベネゼルのボランティアにとって、彼らのチェックインを助け、荷物を預け、出発ゲートへ送る支援をすることは、大きな喜びでした。しばしば元気な小さな子供は抱っこされる必要があり、お年寄りのブネイ・メナシェの男女は、エベネゼルのボランティアに、歩く補助を受けていました。これはまさに文字通り預言の成就なのです。

「彼らは、あなたの息子たちをふところに抱いて来、あなたの娘たちは肩に負われて来る。」(イザヤ49:22)



もう一つの重要な聖書箇所は、エレミヤ31:21です。

「あなたは自分のために標柱を立て、道しるべを置き、あなたの歩んだ道の大路に心を留めよ。おとめイスラエルよ。帰れ。これら、あなたの町々に帰れ。」

イスラエルの北王国が散らされた時、十部族はその時に存在していた貿易路を通して東へ旅しました。そして彼らのうち、キリギスタン、ウズベキスタンに残った人たちもいます。そこには、今でも世界最古のユダヤ人居住区があります。残り的人たちは、さらに東へ向かいました。シルクロードはこのような古代からの貿易路から成り立っています。ブネイ・メナシェ族は、現在の北東インドに定住するまでに、何世紀にもわたってさらに東へと旅して行ったのです。今日、彼らはインドからイスラエルへ、ウズベキスタン航空によって帰還しています。そして、タシュケントで乗り換えをして帰還します。そして、このことは「あなたの歩んだ道の大路に」(エレミヤ31:21)とあるように、預言の成就なのです。

古からの聖書の預言が、ユダヤ人のアリヤーを通して、目の前で正確に成就しているのを見て、畏敬の念を持たずにはいられないのです。

神様にすべての栄光がありますように!



スティーブがビジョンを分かち合う

昨年、私たちはスティーブ・ライトルをフィンランド、エストニア、デンマークに迎えることができたことは、榮譽であり喜びでした。スティーブは、暖かいフィリピンから風の強いフィンランドに来ました。その気候の差は非常に大きいのです。私たちは、フィンランドで雪も見ました。雪玉を作って投げる機会もありました。

スティーブは彼のビジョンを分かち合い、励ましのメッセージと、行動を起こすために準備するべきであるという召しについて分かち合いました。そのメッセージは、それぞれの国において何百人もの人に届きました。フィンランドでは、スティーブは、ヘルシンキ、ヨエンス、セイナヨキの3か所で集会を持ちました。この町々はフィンランドのいろいろな場所にあり、地図上では三角形を作ります。そのようにしてスティーブのメッセージはフィンランドの南、東、西の地域に届くことができました。彼はまたクリスチャンのラジオ番組でインタビューを受けました。また、集会の一つはクリスチャンのテレビ番組で放映されました。もう一つの集会はyoutubeで視聴できます。

エストニアでもまたスティーブは3回の集会を持ちましたが、すべて同じ日に、タリンという場所で行われました。これらの3回の集会は、スティーブがフィンランドでも分かち合ったのと同じメッセージでした。すべての集会

は、クリスチャンのテレビチャンネルに録画されました。

デンマークでも3度の集会が持たれ、重要なメッセージが人々に届きました。

スティーブは分かち合う度に、主が彼に注いだ油注ぎを感じる事ができました。集会の後、人々は目を輝かせて、情熱と興奮に満ちて私たちに話しかけてきました。これから私たちは将来の豊かな実と収穫のために祈っていきたく思います。

スティーブは次のように書いています。「私は、今日アリヤーについて、今までなかったほどに励まされています。長年の後にフィンランドに行くことができたことは大きな祝福でした。昔からの友人に再会することができ、また新しい友を作ることができました。主の臨在が本当に強く感じられました。それで、何度も何度も人々は、その神の臨在に答え、また神の臨在について語っていました。主はまた多くの人々に、エベネゼル出エジプト作戦に関わるように語られました。

愛なる神、私たちの主イエスに賛美と栄光がありますように!主はこれらすべてを可能にしてください、スティーブと、ツアーの準備をしたすべての人々に知恵を与えてくださいました。

国際



スティーブ・ライトル
STEVE LIGHTLE
国際スピーカー

写真:
油注がれて語るスティーブ
(通訳者とともに)

用語解説

アリヤー(Aliyah):
ユダヤ人が約束の地、イスラエルに帰還することを意味します。

ユダヤ機関(Jewish Agency):
1929年 C.ワイズマンによって創設され、エルサレムに本部をもつユダヤ人の国際的機関。パレスチナにユダヤ人の本拠を設けるというシオニストの計画の対外機関。パレスチナへのユダヤ移民の監督、ユダヤ系経済組織の確立などに努める。

オリム(Olim):
イスラエルに帰還するユダヤ人



ロシアにおけるユダヤ人とクリスチャンとの対話

ロシア



ボリス・ワシュコフ
BORIS VASYUKOV
ロシアコーディネーター

私は妻のエリヤとともに1997年にエベネゼルの働きに加わりました。そして、その時、私たちはロシア極東地区のエベネゼル支部代表として任命されました。

2004年に、私たちはアリヤーの働きに対して教会のために仕える働きをするようになりました。しかしながら、教会がアリヤーの働きに関わることができるようになるには、まずアリヤーについての啓示を受け取る必要があるのだ、ということに気が付きました。そのような流れの中で、私たちは季刊誌を発行したり、ホームページを作成したりして、教育的なプロジェクトを立ち上げるように導かれていきました。その結果、数多くの牧師たちがイスラエルについての啓示を受け取り、ロシア各地の教会において、私たちはこのことについて分かち合うようになりました。

ロシアにおける働きのターニングポイントとなったのは、ユダヤ人とクリスチャンの団体のリーダーの円卓会議でした。それは、2010年5月27日、モスクワの記念会堂で行われたものでした。ロシアのプロテスタント教会のリーダーたちがロシアのクリスチャンを代表してそこに集いました。そして、彼らはそこにおいて長年にわたるクリスチャンの反ユダヤ主義について悔い改めの祈りを捧げました。そのことが、事実、ロシアにおけるユダヤ人とクリスチャンとの対話(言葉だけではなく行動を通して)の始まりとなったのです。

結果として、2010年8月に、ロシアにおけるユダヤ人とクリスチャンの対話(JCD)という団体が設立されました。そして光栄なことに、私とその団体のコーディネーターとなるように依頼を受けたのです。このようにして、ロシアのエベネゼルは、イスラエルの回復の働きにおいて、ロシアの教会における管としての働きをするようになりました。

定期的に、大規模な教会合同のイスラエルのための祈禱会が持たれています。そして、その祈禱会の毎回のプログラムでは、献金も募っています。そのことにより、様々なプロジェクトをして、愛の贈り物をするることにより、クリスチャンが主を尊ぶことができるようになります。そのプロジェクトとは、第二次世界大戦中にユダヤ人大虐殺があった場所に記念碑を建設すること、またホロコーストの生存者に薬品を届けること、イスラエルのユダヤ人の子供達の公園建設、そしてロシアからユダヤ人がアリヤーするのを支援することなどがあります。

私たちは、語る言葉よりも行いのほうがもっと明確に表されるのだということを知りました。実際に、ユダヤ人たちのクリスチャンに対する態度が変化しているのを見えます。そして、私たちはお互いにさらに親しくなっているのです。



写真
上:モスクワで行われたイスラエルのための教会合同の集会(イスラエルの高官を含む)

右:クリスチャンとユダヤ人のリーダーの集会

ロシアで仕える

私は、昨年ロシアへフィッシングトリップ(散らされたユダヤ人を見つけ出し帰還を支援する働き)に行き、モスクワ、ノボシビルスクとマリンスクのエベネゼルチームを支援する機会が与えられました。この広大な国において、これらのチームが担っている巨大な責任を知る機会となりました。また、彼らがその任務を本当にうまくやり遂げている姿を見ることができました。

中でも重要な出来事は、ホロコースト生存者と教会のリーダーと分かち合う時を持ったことや、138人のオリムを空港へ見送ったことなどです。そのオリムの中には、34人の若いユダヤ人たちがイスラエル留学のためにイスラエルへ向かいました。この喜びの時に立ち会うことができたのは特別な祝福でした。

モスクワでは、ゲッターに追いやられた70代のユダヤ人男性に出会いました。彼らの行動がいかに制限されていたか、またアウシュビッツの強制収容所へ移送されたことなどについて聞くことができました。そのようなことについて生き延びて語るができる人たちはほとんど残されていません。彼らが愛する家族を思い出す時に、彼らの目には痛みがまだ残っていました。彼らが私にくれた本には、ゲッターにいる小さな子供たちの写真が

のっていました。その中の多くの子供が、親から引き離されていました。また、彼らが生き残ることができたのは、人々の助けと、他の信仰の団体からの支援によるものだと語っていました。

ノボシビルスクにおいては、ホロコースト生存者のグループに伴って、自由公園記念碑に行きました。そしてホロコーストで亡くなった方たちを覚えてバラの献花をしました。そして、学校児童のためのホロコーストの Awareness プログラムについて学びました。

私たちが訪れた様々な教会では、私は、何度も神のみことばを分かち合う機会が与えられ、多くの人たちが、ユダヤ人とイスラエルの地に対して神様が持つておられるご計画について理解しているということを知りました。

モスクワでオリムを空港に見送ることは、毎回わくわくする時です。独身者達の他に、いくつかの家族がありました。ある年配の女性の肩に手を置いて励まし、彼女の荷物を運ぶのを手伝い、搭乗券を手渡したり、と様々な支援をすることができました。このことでわかるのは、私たちの関わりがどのような形であっても、私たちはみな神の御計画の成就の一部を担っているのだということ、また聖書の預言は今日も確かに真実であるということです。

ロシア



ジョニー・ヴァン・デル・マーウィ
JOHNNY VAN DER MERWE
南アフリカ理事



写真
ジョニー、モスクワにて
「私たちはみな神の御計画の成就の一部なのです。」

だれが、このような事を

国際



ピート・スタッケン
PETE STUCKEN
エベネゼル出エジ
プト作戦議長

70年前、世界は驚くべき地政学的な出来事を目撃しました。それは、2000年もの間地上の四隅に追い散らされていた国の民が集められ、その国が世界地図に再び登場したことです。ある人々にとっては、預言者イザヤのことばに、新しく焦点が向けられました。

「だれが、このような事を聞き、だれが、これらの事を見たか。地は一日の陣痛で産み出されようか。国は一瞬にして生まれようか。」(イザヤ書66:8)

2018年4月18日(ユダヤ歴5778年)、今から何週間か後に、イスラエルは70年のハツマウト(HaAtzma'ut)独立記念の祭りに入ります。多くの敵からの呪いにもかかわらず、イスラエルは存在し続けました。そしてこれは、全能者なる神がご自身の契約の約束に対して忠実であることの力強い証なのです。

1800年後半から、ロシアや東ヨーロッパからのユダヤ人移民は、イスラエルで小さな居住区を開拓するために、勇敢にも多くの困難を通りました。アリヤーの門が開かれたのは、わずか70年前のことです。戦争で荒廃したヨーロッパからのホロコースト生存者から始まり、中東諸国やアフリカ、アジア、アメリカ、ロシアなどから散らされた家族が、何百人、何千人、何万人、そして大群衆のユダヤ人たちが、神によって約束された地、イスラエルへと帰還したのです。

これが、エベネゼル出エジプト作戦が27年前に生まれた状況です。ユダヤ人がイスラエルの地へ帰還するのを支援すること、それは、まさしく聖書の中に記録された預言の成就なのです。

アリヤーは、聖別された、聖なる働きであり、主の目に尊いものです。主は言われます。「わたしは彼らを北の国から連れ出し、地の果てから彼らを集める。」(エレミヤ31:8) 私たちは、神様ご自分の古からの契約の民を、彼らのためにとっておかれた地へ再び集められる時に、ともにこの働きに加わる特権にあずかる者なのです。

私たちは、国々に散らされているユダヤ人に喜びに満ちた良い知らせを伝えに行きます。「イスラエルの神は忠実なお方です。あなたがあなたの祖先の地に帰るように道を備えられました。…あなたは捕囚から解放され、イス

ラエルへ帰還する約束があるのです。なぜなら、あなたの神は忠実な方であり、神は王だからです!」

おそらくイザヤはこのような日々を見て次のように書いたのです。

「良い知らせを伝える者の足は山々の上にあつて、なんと美しいことよ。平和を告げ知らせ、幸いな良い知らせを伝え、救いを告げ知らせ、「あなたの神が王となる。」とシオンに言う者の足は。」(イザヤ52:7)

ただ祈りによって

私たちの働きは実際的な支援の前に、祈りにおいての働きです。ユダヤ人がアリヤーする道には、多くの障害が満ちています。その道は困難であり危険でもあります。私たちは、主が祈りに答えてくださり、アリヤーの「大路」を開きまた確かなものとしてくださるのを見ています。祈りととりなしこそ、私たちのあるべき姿であり、なすべきことの全てなのです。私たちは、アリヤーのための見張り人となるように召されているのです。

「エルサレムよ。わたしはあなたの城壁の上に見張り人を置いた。昼の間も、夜の間も、彼らは決して黙ってはいならない。主に覚えられている者たちよ。黙りこんではならない。主がエルサレムを堅く立て、この地でエルサレムを栄誉とされるまで、黙ってはいならない。」イザヤ62:6-7

地球を取り巻く27のタイム・ゾーンで、私たちの祈りのパートナーたちがこの召しを受け取っています。祈りにおいて私たちとパートナーとなっている一人一人がこの見張り人たちの一部であり、昼の間も夜の間も黙ることなく、やがて来られる王の備えのために、神の民をイスラエルの地に回復させるという栄光に満ちた契約の約束を主に思い起こしていただくのです。

私たちは、アリヤーの大路のために祈ります。私たちは祈りをもって、国々からのアリヤーを妨げているものは何かを理解するために、調べ求めます。祈りを通して、私たちはユダヤ人のために門を開き道を整えることができます。祈りを通

聞いたか？

して、私たちは彼らのための大路を建て、彼らが安全に旅をすることができるようにすることができます。祈りを通して、私たちはアリヤーに対する障害や妨げを取り除くことができます。祈りを通して、私たちは若い人やお年寄りが安全にイスラエルへの道を見つけることができ、安心してその地に居住することができるように、道しるべを立てるのです。預言者たちはそれをすでに見ていました。

「通れ、通れ、城門を。この民の道を整え、盛り上げ、土を盛り上げ、大路を造れ。石を取り除いて国々の民の上に旗を揚げよ。」イザヤ62:10

「あなたは自分のために標柱を立て、道しるべを置き、あなたの歩んだ道の大路に心を留めよ。おとめイスラエルよ。帰れ。これら、あなたの町々に帰れ。」エレミヤ31:21

教会を整える

国々において反ユダヤ主義や暴虐や苦悩がある今日、国々のキリストのからだか、ユダヤ人とともに立つために整えられることが緊急の必要となっています。私たちはみな、これが、ユダヤ人のアリヤーを支援し励まし守るために配置される必要があります。しかし、これは代価を伴う立場となるかもしれません。

私たちは、教会に対して角笛を吹き鳴らして、与えられている責任を果たすように呼びかけています。また、神のイスラエルに対する召しと契約の奥義について無知であってはなりません。主が私たちに力を与えてくださるので、私たちは、教会がアリヤーについての召しと任務を果たすことができるように整えられていくようにさらに分かち合っていきたいと思えます。教会が適切な役割を果たすことができますように！

私たちのビジョンは、「主のしもべととりなし手となり、ユダヤ人がすべての国々からイスラエルへ帰還するのを支援し、彼らの帰還のための神の御国の目的を宣言すること」です。

写真

上：デイビッド・ベン・グリオンが1948年テル・アビブの博物館で、イスラエル独立宣言文を読んでいるところ

1948. © 2018 NATIONAL PHOTO COLLECTION



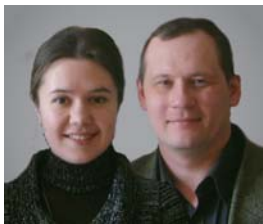
写真

下：ブネイ・メナシェの団体が昨年末に、ベン・グリオン空港に到着したところ



遺産によって、モルドバで新しい車が備えられる

モルドバ



パベル&リナ
PAVEL & LINA
モルドバ支部リーダー

「どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方に、教会により、またキリスト・イエスにより、栄光が、世々にわたって、とこしえまでありますように。アーメン。」エペソ3:20-21

今年モルドバでエベネゼル緊急基金の実際的な働きのために購入された新しいミニバンは、私たちにとっては、私たちのチームが願うところを「すべてを越えて」いるものでした。

今までのミニストリーに使ったミニバンは、長年の間私たちの働きにとって大きな祝福でした。このミニバンは、数多くのオリムと彼らの荷物を、テル・アビブ空港へ行くためにチシナウ空港へ運ぶために、またハイファへ船旅をするためにオデッサ空港へ運ぶために、主によって用いられてきました。感謝なことに、主は私たちの豊かな備え主です。主が古いミニバンを新車のミニバンと取り換えてくださったのです！主は、私たちの尊い支援者の一人の寛大な遺産の助けにより、主がこの新しいミニバンを備えてくださったのです。

昨年の夏以来、モルドバのオリムはアリヤーの飛行機で、以前より大きな荷物を運ぶことを許可されています。それによって、スーツケースや荷物を入れるスペースがもっと必要になりました。特に、大家族の場合はそうです。私たちは最近、トランスニストリアのベンダー出身のパチエスラフ、リウドミラ、そして彼らの二人の小さな子供たちがイスラエルへ帰還す

る支援をしたところでした。その少し前に、エベネゼルは彼らが領事館を訪れることと書類の準備を支援しました。

彼らがアリヤーする日に、イスラエルへの便に乗るために空港へ送って行きました。この4人家族はエベネゼルの乗り物に快適に乗っていました。そして、彼らの多くの荷物ものせる十分なスペースがありました。

その上、夏にはモルドバでは40℃を越える暑さの日もありますが、小さな子供を連れた家族も、エアコンの効いた快適な車で、チシナウにあるイスラエル領事館を訪れることができましたし、テル・アビブ空港へ向かう飛行機に乗るために空港へも行くことができました。

この新しい車は、主によって力強く用いられ、モルドバからのアリヤーのための神様の御計画と目的が成就されることと信じています！私たちはすべての栄光を主にお返しします。また、献身者的な支援者の皆さんの寛大なサポートに心より感謝します。皆さんの支援により、私たちのチームはユダヤ人の困窮した家族を支援し、神の愛を行動で示すことができるようになりました。



娘たちが道を導く

私たちのチームとマリアナとデニス、2013年11月に行われた私たちの「冬靴人道的支援プロジェクト」で出会いました。この夫婦には4人の娘たちがいました。それで、私たちは彼女たちにアリヤーについて語りました。

神様の時が来て、私たちの語った言葉は実を結び、二人の上の娘たちが2015年に、イスラエルのナーレ学習プログラムでイスラエルへ行きました。この二人はイスラエルによく適応しておりとても楽しく過ごしています。それで、彼女たちは両親と妹たちにもイスラエルに来て一緒に住むように励ましたのです。

エベネゼルは、この家族の二人分のパスポートの取得費用と、彼女たちがチシナウの領事館とオデッサへ行く費用も提供することができました。私たちはアリヤー便に乗る日に、彼女たちを空港に連れて行くことができました。

彼女たちの真の故郷イスラエルの地で、神様からの豊かな祝福を受けることができることを願っています。

この家族やまた彼らのような多くの家族がイスラエルの地にしっかりと植えられますようにお祈りください。



モルドバ



パベル&リナ
PAVEL & LINA
モルドバ支部リーダー

新しい生活へ向かう

ヤコフはキエフにいる時には、かなりの反ユダヤ主義があることを体験していました。彼はユダヤ人だったので、そこでは大学へ入ることができませんでした。しばしば彼は屈辱を受け、時には暴力を受けて、彼自身が正当防衛しなければならぬこともありました。

彼はもうこれ以上そのような状況に耐えることができませんでした。ロシアのウラル地方の方が状況が穏やかであると聞いて、ヤコフと妻はそこに移りそこで大学の学位を取得し良い仕事にも就くことができました。

彼の親戚の多くは、何年も前にイスラエルに帰還していました。彼の母親と兄弟とその家族は、ウクライナからイスラエルへ帰還しており、ヤコフも彼らに合流したいと願ったのです。私たちは、彼らの書類作成の支援をしました。実際的な援助もすることができました。この夫婦の子供たちはしばらくはロシアに残る予定ですが、近い将来イスラエルへ帰還して両親と合流する予定です。

私たちは、主がこれらの人々の人生においてなしてくださっているみわざゆえに、主をほめたたえます! 私たちは、彼らに慰めと励ましをもたらすことができることは特権だと思います。そして、主が私たちにもっと彼らのような多くの人たちを支援する機会を与えてくださるようお祈りします。ハレルヤ!



ロシア



アレクサンダー
ALEXANDER
イェカテリンブルク地区

オランダからの アリヤー

オランダ



アベ&ディーパ・トーマス
ABE & DEEPA THOMAS
インド

昨年11月に、私たちはある家族がアリヤーするのを支援しました。ヨチャナンは、退役したオランダ軍のラビでした。彼の妻スージーはモロッコのフェスで生まれ、そこで12歳になるまで住んでいました。その後彼女は両親とともにアリヤーしました。彼女はその後イスラエルにてヨチャナンと出会い、その後一緒にオランダに来たのです。



彼らには4人の子供がいます。一番年上はタニヤです。彼女はオーストラリア系ユダヤ人と結婚し、昨年エベネゼルオーストラリアの支援によって帰還しました!タニヤは今家族とともにモディンに住んでいます。彼女の息子の一人はイギリスに住んでおり、他の二人の息子はまだオランダに住んでいます。この家族は Netanyahu にアパートを買いました。

16人のボランティアの助けにより、私たちは2週間の間にアメルスフットにある彼らの家を掃除しました。すべての荷物が荷造りされ、数えられリストも作成され、トレーラーに積み込みました。荷物は船便でアシュドテに輸送されました。ヨチャナンは、彼の手紙でこう書いています。

「長年の夢が今かなえられ現実となりました。私たちはエレッツ・イスラエルと強いつながりを持っています。私たちがアリヤーしたことが他の子供たちへも励ましとなって、彼らもまた帰還できるように願っています。エレッツ・イスラエルに住むことは、すべてのユダヤ人にとって偉大なミツバなのです。」



thy
KINGDOM
come

AGES 18-35+

9-23
JULY
2018



Explore the Land of miracles, see the ancient stories of the Scriptures come to life, walk where Jesus walked and go deeper in your faith as we enjoy times of teaching, worship and prayer. Make friends for life as you go on the journey of a lifetime - The Explorers Experience.

FOR ONLY

\$1690.00 USD
*Price subject to change.



Do you feel called to prayer? Have you been to Israel and are looking to go deeper? Do you want to grow in worship and intercession? The Warrior Experience is for you! Plunge deeper in your understanding with expert teaching on prayer intercession and worship in the end time army of God.

FOR ONLY

\$1390.00 USD
*Price subject to change.



This hands on experience will join you to the Land of Israel like never before. Together with a settlers community in the midst of the Judean Hills we will use our hands to plant trees and build houses, spending an exciting time with those who are really seeing Israel grow from the roots up, with our own hands seeing Biblical prophecy come to life.

FOR ONLY

\$990.00 USD
*Price subject to change.

JOURNEY WITH US FOR
14 Awe Inspiring days

More info in Social Media

EbenezerInt:



& www.engage-israel.org

とりなし手の軍隊

私達は、主がアリヤーのためのとりなし手の軍隊を建てあげておられると信じています。

「ふたりの者は、仲がよくないのに、いっしょに歩くだらうか。」アモス3:3

私たちが一緒に歩いて行きたいと思うならば、一致する必要があるということは明らかです。パウロは、ピリピ人への手紙の中で、「一致を保ち、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、志を一つにするように」(ピリピ2:2) 励ましています。

驚くべき約束!

イエシュアは私たちに素晴らしい約束を与えてくださいました。「まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」(マタイ18:19-20)

ですから、ここで私たちはともにイエシュアの御名によって集まり、神の預言的なみことばに従って、祈りにおいて心を一つにするように招かれています。そして、アバなる私たちの父はそれをなして下さるのです!

「大人数によるのであっても、小人数によるのであっても、主がお救いになるのに妨げとなるものは何もない。」(1サムエル14:6)

ヨナタンとその道具持ちがペリシテ人に勝利した時、勝利が彼らの人数によるのではなく、主が彼らのために戦ってくださっていると

いう事実によるものだと知っていました。

御国の計算法

モーセは彼の偉大な歌の中で、こう歌っています。「・・・どうして、ひとりが千人を追い、ふたりが万人を敗走させたろうか。」(申命記32:30) 天国の計算法は、私たちのとは異なっていることは明らかです。私たちがともに集まり祈りにおいて一致する時、素晴らしいことが起こるのです。主ご自身が私たちのただ中におられるのです。なぜなら、「あなたがたの神、主が約束されたように、みずからあなたがたのために戦われるからである。」(ヨシュア23:10)

預言的なことばに協力する

神は私たちに神の協力者となるように召しておられます。(1コリント3:9) このことは、特に神がこの時代に心と思いを尽くしてなしておられるみわざ、すなわち、国々からユダヤ人を再び集め、約束の地に植え彼らを祝福する(エレミヤ32:37-41)ということにおいて、確かに私たちは神の協力者となるのです。主はご自身の預言的なみことばを成就されています。そして、この預言の成就のために主とともに働き主に仕える人々を探し求めておられるのです。

あなたも、主が最後のアリヤーが世界中から集められるこの時、主が建てあげておられるこの主のとりなし手の軍隊の一員となることができます。主がもし他の1人か二人、またはグループでアリヤーのためにともに祈るように召されていると感じるならば、ぜひご自分の国のエベネゼルコーディネーターに連絡をして下さるようお願いします。

祈り



フィリップ・ホルムベルグ
PHILIP HOLMBERG
祈りのチーム

IN THE
Footsteps
OF THE
Prophets

4-11
NOVEMBER
2018

2 NIGHTS IN YEHUDA, JERUSALEM
2 DAYS IN BAY CLUB HOTEL HAIFA
2 DAYS IN THE NEGEV
1 NIGHT IN RAMAT RACHEL, JERUSALEM

FOR
ONLY

\$1465.00 USD

*PRICE DOES NOT INCLUDE FLIGHTS

TOUR GUIDE: HANNA BEN HAIM

+INFO: SILKE.BARTHEL@EBENEZER-INTERNATIONAL.DE

見張り人を集める

イスラエル



ジェレミー & リサ・スミス
JEREMY & LISSA SMITH
イスラエル支部

イスラエル中から、アフラからベールシェバまで、またアメリカ、イギリス、フランス、スウェーデン、ウガンダからのとりなし手と一緒にエルサレムのパビリオン祈りの塔に集まりともに主を礼拝し、エベネゼルの働きとアリヤーのために祈りました。私たちは、みことばが預言しているように、ユダヤ人がイスラエルの国に帰還しそこで栄えるように、とりなして祈りました。

「だが、今、ヤコブよ。あなたを造り出した方、主はこう仰せられる。イスラエルよ。あなたを形造った方、主はこう仰せられる。「恐れるな。わたしがあなたを贖ったのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。…わたしは、北に向かって『引き渡せ。』と言い、南に向かって『引き止めるな。』と言う。わたしの子らを遠くから来させ、わたしの娘らを地の果てから来させよ。」(イザヤ43:1, 6)

私たちが祈った時、本当に緊急な思いと一致



がありました。そしてその後にある女性が私たちの心を表すことばを次のように語りました。「何時間でもこのように祈り続けたいと思いました。」この集会は、その後毎月行われる祈禱会の始まりとなりました。

私たちはこの集会の初めに、みことばを朗読しエベネゼルの働きを思い出し、心からの祈りをささげました。コリン・ロスが礼拝を導き、イスラエルのコーディネーターのヨハネス・バルテルが神の忠実さの証を語って私たちを励ましてくださいました。また、イタリアのギアン・ルカ・モロッチェは、エベネゼルの中心的なビジョンを私たちに思い起こさせてくださいました。

あるとりなし手は次のように書いていました。「昨日の集会はなんとすばらしいものだったことでしょう!アバ父がなしてくださっているみわざを思い起こすことができ、とても励まされました。神のみことばを成就される神の忠実さを思いおこしました。」

私たちは祈る時に、神がユダヤ人のために持つておられる目的に心を合わせて祈っていきましょう。神のイスラエルのための御計画はみことばの中に現されています。私たちは、ユダヤ人が地の果てから故郷の地へ帰還すること、預言が成就するのを目の当たりにするという特権を受けているのです。

ジェレミーとリサ・スミスは、最近イスラエルのエベネゼルチームに加わりました。彼らは20年以上ミニストリーに携わり、そのうち14年はイスラエルにおいて主に仕えています。6人の子供たちと住んでいます。

Operation Exodus

A ministry of Ebenezer Emergency Fund International

Ebenezer Operation Exodus International & UK Office
PO Box 9103, Bournemouth
BH1 9DA, UK
+44 (0) 1202 294455
enquiries@ebenezer-ef.org
www.operation-exodus.org

Operation Exodus USA
PO Box 568 Lancaster
NY 14086
Phone: 716 681 6300
info@ebenezerusa.org
www.ebenezerusa.org



**EBENEZER
OPERATION EXODUS**



エベネゼル緊急基金日本支部

〒062-8691 豊平郵便局私書箱37号
Tel&Fax: 011-813-3558 (岡田)
office@ebenezerjapan.org
http://ebenezerjapan.org/
郵便振替 (名称) エベネゼル緊急基金
(番号) 02710-0-55842

Operation Exodus (出エジプト作戦) はエベネゼル緊急基金の実際的な働きと名称です。すべての国々からユダヤ人がイスラエルの地に帰還するように支援しています。彼らが約束の地に帰還するという神の計画と目的を宣言するべく1991年に3人の人から始まりました。

イギリス本部、アメリカ、スイス、ドイツを中心に国際的活動を展開し、さらにイスラエルを含めた25カ国に各国代表者と各国支部を配置しています。そして、旧ソ連諸国には実際的な働きのために、数多くの活動の拠点を設置しています。日本支部もその働きの一部です。